公共投資に「創造力」

株式会社 新日本コンサルタント

砂防施設長寿命化計画

【1. 長寿命化計画の必要性】

砂防関係施設の長寿命化計画は、保全対象を守る観点から既存の砂防関係施設の健全度等を把握し、長期にわたりその機能及び性能を維持・確保することを目的として、維持、修繕、改築、更新の対策を的確に実施するための計画であります。計画の策定、実施にあたっては、施設の維持、修繕、改築、更新に掛かるトータルコストを縮減し予算を平準化していくために「予防保全型維持管理」の導入が望まれております。『砂防関係施設の長寿命化計画策定ガイドライン（案）』は、砂防関係施設の長寿命化計画の策定に際して、施設管理者（直轄工事施工区域にあっては所管事務所）が計画を策定・運用するための基本的な考え方や手順を示したものであります。

弊社では、「砂防関係施設の長寿命化計画」に必要な「対象となる砂防関係施設に関する機能・性能の状況把握、施設台帳の整理、点検の評価、維持・修繕・改築・更新などの対策工の検討」等、砂防関係施設に対する技術力を生かした長寿命化計画をご提案します。

『砂防関係施設の長寿命化計画策定ガイドライン(案)
／国土交通省水管理･国土保全局砂防部保全課(平成 26 年 6 月)』

【2. 長寿命化計画の流れ(フロー)】

1．施設の点検

↓ ・定期点検、臨時点検、必要に応じて詳細点検を行う

2．施設の健全度の把握

↓ ・点検結果を基に施設の健全度を把握

3．１対策の優先度の検討
3．２対策工法、経過観察方法の検討

↓ ・施設の健全度、防災上の観点等を総合的に勘案して対策の優先度を決定

4．年次計画の策定

1)施設の点検

日常、定期、詳細、臨時点検や地すべり地におけるモニタリング計画の方法、内容、時期等の検討を行います。

2)施設の健全度の把握

点検結果に基づき、施設の構造・材料特性を踏まえ、機能低下、性能劣化状況を把握し、健全度を評価・整理します。

3-1)対策の優先度の把握

健全度、流域状況、保全対象位置、施設の重要度、災害履歴、対策工法、コスト等を踏まえ、優先度を検討します。

3-2)対策工法、経過観察方法の検討

施設の構造、損傷状態、機能低下、性能劣化の要因を整理し、経済性、施工性、環境への影響等を含め、総合的に検討します。また経過観察施設について、地域の特性を踏まえ、点検項目、点検の観察・観測方法や頻度を検討します。

4)年次計画の策定

計画対象区間は 10 年程度を目安として修繕、改築等の必要な施設を抽出し、健全度や優先度評価、安定性等に関する現行基準との整合状況、対策時の施工性、環境への影響、コスト等を総合的に考慮し、年次計画を立案します。概ね 5 年経過時の点検結果や対策状況等を踏まえ、修繕、改築、更新に関する計画を見直します。

【3. 主な業務実績】

No.	年度	業務名称	発注機関名	業務対象地域名
1	H26	神通川水系長谷谷川砂防総合交付金(砂防設備緊急改築) 長谷川堰堤対策工法検討委託業務	富山県 富山土木センター	富山県 富山市山田湯地内

○お問い合わせは

株式会社 新日本コンサルタント
http://www.shinnihon-cst.co.jp

●本　社　:〒930-0142　富山市吉作 910 番地の 1
TEL　:076-436-2111　FAX:076-436-2260
E-Mail:info@shinnihon-cst.co.jp
支店:金沢･大阪　新桜町オフィス
営業所:新川･魚津･立山･射水･高岡･砺波･南砺･小矢部･津幡･能登･福井･新潟･和歌山